2015　　Vol.55

「鯛一郎クンだより」

発行　　有限会社　徳弘水産
代表取締役　徳弘　多一郎
TEL：0895-28-0248　FAX：0895-28-0956
E-mail　taichiro-kun@taichiro-kun.com
HP　http://taichiro-kun.com

こりゃ～鯛したもんだ！

2015年のテーマ!!

思いっきり喜ぼう! 思いっきり楽しもう!!

社長あいさつ

長い長い、ホントに長い赤潮がやっと終わりました。取り引き先の皆様には本当にご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。心よりお詫び申し上げます。今年の赤潮対策は「ジッと我慢！」。昨年の様子を見ていると**エサをやったり移動させたりしている人が割と魚を殺してる**と感じ、鯛を殺さず守る事を最優先させエサをやらずジッと我慢をし続けました。お陰さまで少しも殺す事なく乗り越えさせて頂きました。　**殺した人、そうでなかった人…比べてみるとそれは「運」のようにも見えましたし「ツキ」のようにも感じました。**誰がどうなってもおかしくない中、そう感じながら作業をしておりました。さて回復させて出荷です。皆様、良かったらまた鯛一郎クンをどうぞ宜しくお願いいたします。　感謝

6/17 『魚錠さん』『ヤマナカさん』来社

少し前に魚錠さんを訪問させて頂き「現場を見ずして鯛一郎クンを語らないで下さい!」…なんて言っておりましたが早速、見学に来て頂きました。「ヤマナカ」のバイヤーさんも熱くて沖でも事務所でも質問責めです。　２日目の鯛一郎クンを食べて「全然違う！！」と感じ今日の宇和島となったそうです。その秘密を感じて頂けましたでしょうか…

各部署のプロフェッショナルが揃われての来社です!!!

6/20 『藻場』つくり

４年目の藻場つくり。昨年撒いた所のそこここから藻が生えて成果を目で確かめながら取り組む今年は勢いが違います。地元の漁師さん、青年漁業者、それに県や市の方々が一致団結して取り組む藻場作り。藻陰に小魚が見え一緒にユラユラと揺れています。小さな取組みかも知れませんが夢は大きく、「甦れ豊かな海よ！」・・・であります。

大人になっても覚えていてね～♪

大特集『赤潮』!!! and 台風11号

自分の漁場だけでなく隣の湾や海域まで気を配ってないといつどうなるのか分からない…そんな状況の中、左ひれの情報収集ネットワーク　背びれの行動力　従業員みんなの団結力を見せてもらいました。赤潮でハラハラする中、いいチームになったなぁと感じた赤潮でもありました。そして現場での足腰の弱さを実感したお頭でありました・・・・鍛えなくっちゃ

お頭：徳弘　多一郎

去年に続き今年もまた今までに無い規模の赤潮が出ました。範囲も去年よりかなり広く逃げる場所も無くしかも期間も長く宇和島全体でかなりの被害が出ました。小池もいつ魚が死んでもおかしくないプランクトンの細胞数が出て出荷も餌やりも何もできず毎日見回りをして海の様子をチェックすることしか出来ませんでした。また、すこし潮が落ち着いてきた時に今度は台風11号が直撃コースで来てたので心配していましたが、少しそれてくれたのでたいした雨も降らず、風も冬の時化ほどで助かりました赤潮もだいぶ終息して来たので早く餌をやって何時もの鯛一郎クンに仕上げて皆さんの元へ届けれたらと思いますm(__)m

背びれ：稲住　啓太

六月半ば頃から発生した赤潮。去年に続き範囲がすごそう!! 情報収集に全力を注ぎ去年よりもあきらかにひどい赤潮に完全に囲まれ、身動きがとれない状態でした筏を動かした業者の魚が死に…餌をやれば死に…毎日綱渡り状態!!いつどうなるかわらないくらいひどい海でしたしかも台風まで来る始末…今年の緊張感はすごかったです(T△T)　今は急潮が入り潮の流れが変わりはじめ、やっと餌やりが始められました魚にかなり負担がかかっているので、まずは無理せず回復させたいです。自然相手の怖さをあらためて感じた数週間でした。これから回復作業に全力を注ぎたいと思います。

(^^)v 左ひれ：川中　秀一

２年連続で赤潮が発生しました 今年の赤潮は範囲も広く海の状況を確認する為に毎日、高島、九島をぐるっと回って野島、円瀬、美地、戸島の近くまで行く時もあり今年は、かなりの広範囲に及びどこまで行っても赤い海に難儀しました船の油も月に1回入れるか入れないかなのに7月は、すでに2回も給油しました。それでも魚の死にが少なかったので ホッと一安心。良かったです

村中　寛之

去年に続き今年も赤潮が発生して 他の養殖業者さんはジプシーのように筏をこいで動かしていたけど自分たちは赤潮の層が浅かった事もあり筏を動かさず、餌をやって被害が出るとこが多かったので餌止めをして過ごしました。お陰さまで被害がなく終われたので一安心です餌を やれてないぶん脂も抜けていると思うのでガンガン餌やりをして回復に努めたいと思います

毛利　和史

去年に引き続き今年も赤潮で毎日落ち着きませんでした それに今年は期間も長く、宇和島全体の被害も大きかったのでとても大変でした　でも今年は去年よりひどい赤潮なのに徳弘水産は、ほぼ被害ゼロだったのでよかったです これから赤潮は出ないとは言えないのでもっと赤潮に対する知識と対処法を身につけて魚を死なせないように対応していきたいです。

p　q

秋場　力也

終焉が見えない。予測が出来ない。舵とり1つで大被害になり兼ねない状況下、社長・清子さん・男性達は休日を返上し対応に追われる日々。　心身ともに休む時間も無くお天気もほぼ毎日が雨。　みんなの士気も下がっていて社内にもどんより感が…自然が相手の仕事の難しさ…終わりの見えない苛立ちや不安…各人がさまざまな感情の元、日々の仕事に従事している事に改めて気づかされみんなの為に自分に出来る事を考えさせられています（まだ答えが出ていませんが(笑)）　鯛一郎ｸﾝファンの皆さま～みんなで乗り切ろうとしております!!　どうぞ温かいご声援をよろしくお願い致します <(_ _)>

山崎　早苗

毎年ひどくなる赤潮!! もう幾度目の出荷停止と危機でしょうか？ 肌虫に毒性プランクトン!! 何だか目に見えない小さなものに追い込まれています いったい何を学べと言うのでしょう？長い長い7月です。それでもここからまた立ち上がって扉を開けて行きます。　忍忍!! p q　p q

胸びれ:徳弘　清子

御礼

赤潮の間、沢山の方より励ましを頂きました。この場をお借り致しまして、心より御礼を申し上げます。中でも 「社長、収入がないでしょ？これからも鯛一郎ｸﾝを仕入れるんだから何か月分か先にお金を振り込んでもいいよ」「他の鯛を…なんて勧められたのですが鯛一郎クンが出てくるまで待ちます。頑張って！」「お客様は私がフォローするから今はとにかく現場で頑張って！」そんな励ましを頂き家内と涙しました。鯛一郎クンを作ってきて良かったと思えた瞬間でした。これからなお一層良いもの、旨いものを育てて参りますのでどうぞどうぞお付き合い下さいませ。　感謝

お頭拝